

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立佐野中学校

1, 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2, 調査実施日

平成28年4月19日（火）

3, 調査の対象

中学校第3学年、全生徒

実施生徒数（280人）

4, 調査の内容

- (1) 学力に関する調査
 - ア 教科は、国語及び数学。
 - イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。
 - ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。
- (2) 学習状況に関する調査
 - 調査する学年の生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「生徒アンケート調査」という。）を実施する。
- (3) 学校の取組に関する調査
 - 調査対象の生徒が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや少なく、中位層がやや多い。
平均正答率(本校 72.3/泉佐野市 71.2/大阪府 73.5/全国 75.6)

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや少なく、中位層と下位層がやや多い。
平均正答率(本校 62.3/泉佐野市 60.9/大阪府 63.3/全国 66.5)

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語 A	特 徴 が み ら れ た 設 問
【話すこと・聞くこと】 ○話の展開などに注意して聞き、自分の考えを比較することに課題がある。 7一 聞き手の姿勢について適切なものを選択する。(63.9/70.6) ○互いの発言を検討して自分の考えを広げること に課題がある。 7二 話し合いを踏まえ、全体に発言するとき において適切なものを選択する。(48.9/62.0) 【書くこと】 ○集めた材料を整理して文章を構成することに課 題がある。 2二 パンフレットから読み取った情報を整理 し、文章をよりよく書き直したものを選択 する。(60.4/73.2) ○文章を読み返し、文の使い方などに注意して書 くことは概ねできている。 4一 文章を読み、書き直した意図について正し く書かれているものを選択する。 (67.5/64.7) ○伝えたい事柄について根拠を明確にして書く ことに課題がある。 4二 質問に対する答えの根拠が明確になるよ うに書く。二十五字以内 (67.5/78.7)	【読むこと】 ○文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える ことに課題がある。 6一 文章について説明したものとして適切なも のを選択する。(75.0/81.3) ○文章の構成や展開について自分の考えをもつこ とに課題がある。 6二 文章について説明したものとして適切なも のを選択する。(61.1/67.3) ○新聞やインターネット、学校図書館等の施設など を活用して得た情報を比較することに課題があ る。 8一 奥付の特徴や役割について適切なものを選 択する。(80.7/86.1) 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 ○辞書を活用し、漢字が表している意味を正しくと らえることに課題がある。 9四ア 辞書を活用し、漢字が表している意味を選 択する。(51.4/60.3) ○文の成分の照応について理解することに課題が ある。 9五 文章を書き直した意図について正しく書か れているものを選択する。(51.1/60.8)

国語 B	特 徴 が み ら れ た 設 問
【書くこと】 ○文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確 にして自分の考えを具体的に書くことに課題が ある。 1三 ちらしの情報から、表現の工夫を読み取り、 正しいものを選択する。(60.7/68.0) ○課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考 えることができることに課題がある。 2三 自分が疑問に思ったことについて書く。四 十字以上八十字以内 (42.0/49.2)	【読むこと】 ○文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分 け、要旨を捉えることに課題がある。 1一 文章について説明したものとして適切なも のを選択する。(69.6/76.2) ○目的に応じて要約することに課題がある。 2二 情報カードに内容をまとめる際に適切なも のを選択する。(55.7/64.0)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	47.1	59.8	○	12.7
国語の勉強は大切だと思いますか	85.9	89.1		3.2
国語の授業はよくわかりますか	77.4	74.1		3.3
読書が好きですか	58.1	69.9	○	11.8
国語の授業で学習したことは将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	79.5	84.6	◇	5.1
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	40.1	62.2	○	22.1
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	42.1	56.7	○	14.6
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由がわかるように気を付けて書いていますか	54.3	66.7	○	12.4
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	65.2	71.3	◇	6.1
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	92.2	94.7		2.5

- 学習状況調査の中で、10項目のうち5項目と多くの項目において、全国との差が5%以上と著しい差があるが、昨年度より3項目減っている。
- 国語の学習は大切だと考える生徒の割合について、前年度に比べて全国との差が広がっている。
- 国語の授業の内容がよく分かる生徒の割合について、前年度に比べて2.6%広がり全国との差が広がっている。
- 読書が好きと答えた生徒の割合について、前年度に比べて2.7%広がり全国との差が広がっている。
- 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしているという生徒の割合について、前年度に比べて4.1%広がり全国との差が広がっている。
- 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫しているという生徒の割合について、前年度に比べて5.9%改善されているが、全国との差が14.6%程度ある。
- 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいるという生徒の割合について前年度に比べて1.1%改善されている。
- 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題について最後まで努力をした生徒の割合について、前年度に比べて5.0%改善され、全国との差が2.5%差に縮まった。

平成 28 年度全国学力・学習状況調査の分析（数学）

1. 全体の傾向

「A 区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや少なく、中位層がやや多い。 平均正答率（本校 56.7／泉佐野市 57.4／大阪府 61.7／全国 62.2）

「B 区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層及び中位層がやや少なく、下位層に少し偏っている。 平均正答率（本校 37.3／泉佐野市 38.2／大阪府 43.1／全国 44.1）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

数学 A	特 徴 が み ら れ た 設 問
【数と式】 ○具体的な場面で数量の関係を表す式を、等式の性質を用いて、目的に応じて変形することは、全国に比べ課題がある。 2(4) 等式 $S=ah$ を h について解く (62.6/67.9) ○簡単な一元一次方程式を解くことに課題がある。 3(1) 一元一次方程式 $x+12=-2x$ を解く (63.0/71.3) ○ひし形について対角線が垂直に交わることを、記号を用いて表すことに課題がある。 7(2) ひし形の対角線が垂直に交わることを、記号を用いて表す (59.4/74.4) 【関数】 ○比例の式について、x の値の増加に伴う y の増加量を求めることに課題がある。 9(2) 比例 $y=2x$ について、x の値が 1 から 4 まで増加したときの y の増加量を求める (33.1/39.4) ○一次関数のグラフの特徴について、表と関連付けて理解することに課題がある。 10(1) 一次関数の表からグラフを選ぶ (52.0/61.9) ○一次関数 $y=ax+b$ について、変化の割合が一定で a の値に等しいことを理解することができている。 10(2) 一次関数の式から変化の割合を求める (56.9/54.6) ○具体的な事象における一次関数の関係を式に表すことに課題がある。 11 一次関数の事象を式で表す (41.3/53.0)	【図形】 ○対称移動した図形をかくことに課題がある。 4(2) $\triangle ABC$ を、直線 l を軸として対称移動した図形をかく (63.0/71.8) ○空間における直線と直線との位置関係(辺と辺とがねじれの位置にあること)を理解することに課題がある。 5(1) 三角柱において、与えられた辺とねじれの位置にある辺を書く (67.6/75.5) ○四角形をその面と垂直な方向に平行に動かすと、四角柱が構成されることを理解することに課題がある。 5(2) 四角形をその面に垂直な方向に一定の距離だけ平行に動かしてできる立体の名称を書く (66.2/74.0) ○円錐の体積は、それと底面が合同で高さが等しい円柱の体積の $1/3$ であることを理解することに課題がある。 5(4) 円柱の体積が 600 cm^3 のとき、その円柱と底面の円が合同で高さが等しい円錐の体積を求める (39.1/49.9) 【資料の活用】 ○資料を整理した表から最頻値を読み取ることに課題がある。 12(1) 読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める (32.4/45.5) ○簡単な場合について、確率を求めることに課題がある。 13(2) 1 から 13 までの数字が書かれた 13 枚のカードから 5 または 11 のカードをひく確率を求める (69.0/79.6)

数学B	特 徴 が み ら れ た 設 問
【数と式】 ○与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、処理することに課題がある。 1(1) 1試合の時間を16分とすると、1回の休憩の時間を求める (73.6/79.3) ○与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、数量の関係を数学的に表現することに課題がある。 1(2) 葉月さんの提案を取り入れたとき、1試合の時間を求めるための方程式をつくる (26.1/33.4) ○適切な事柄を判断し、その事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。 1(3) 1試合の時間を10分とることができるかについて正しい記述を選び、その理由を式を基に説明する (41.8/51.4) ○問題場面における考察の対象を明確に捉えることに課題がある。 6(1) 最初に決めた数が5のとき、手順通りに求めた数を書く (69.6/76.4) ○与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明することに課題がある。 6(2) 文字を使って手順通りに求めた数から最初に決めた数を当てる方法を説明する (10.4/15.4) 【図形】 ○付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明することに課題がある。 4(2) $DA:DC=1:2$のときの$\triangle DEC$がどのような三角形になるかを説明する (26.8/37.3)	【関数】 ○加えるべき条件を判断し、それが適している理由を説明することに課題がある。 2(2) $x=4$のとき $y=9$になるように、xとyの関係を書き加えることについて、正しい記述を選び、その理由を説明する (12.9/20.6) ○グラフの傾きを事象に即して解釈することができる。 3(2) B車の使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、グラフの傾きが表すものを選ぶ (30.4/29.8) ○事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。 3(3) A車とB車について、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する (21.1/30.3) 【資料の活用】 ○資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。 5(1) 24.5cmの靴を最も多く買うという考えが適切ではない理由を、グラフの特徴を基に説明する (36.4/47.6) ○与えられた情報から必要な情報を選択し、数学的に表現することに課題がある。 5(2) 25.5cmの靴が貸し出された回数の相対度数を求める式を書く (19.3/31.1)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
数学の勉強は好きですか	58.6	56.0		2.6
数学の勉強は大切だと思いますか	76.6	80.5		3.9
数学の授業の内容はよく分かりますか	72.3	69.4		2.9
数学ができるようになりたいと思いますか	90.8	91.3		0.5
数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	74.8	72.1		2.7
数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	43.2	41.9		1.3
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	70.6	71.5		0.9
数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えます	71.0	69.0		2
数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか	67.1	69.8		2.7
数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	78.4	81.1		2.7
今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	88.3	92.7		4.4

○学習状況調査の中で全国との差が5%以上差があるものが0項目と、昨年度より良くなっている。

○昨年度より5%以上上がっている項目が6項目と良くなっている。

○最後まで解答を書こうと努力したかという項目で、全国に比べ低くなっている。

○公式やきまりを習うときに、根拠を理解しているかどうかの項目では、全国と4%以上の差がある。

○数学が好き、大切だと思う、内容が分かる、出来るようになりたいと思うかという、数学に対する考えが昨年度よりもすべて良くなっている。

○自分の将来や社会において数学が役に立つと考える項目数値が昨年度のものより上がっている。

○数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますかという項目の数値が昨年度のものより下がっている。

○解き方が分からないとき、諦めずに色々な方法を考えるかという項目の数値が昨年度のものより下がっている。

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（生徒質問紙より）

本校の生徒の意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1, 2と3, 4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上の差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本 校 < 本 校 回 答 率 / 全 国 回 答 率 >
【家庭生活の様子】	自己肯定感が低く、携帯やスマホの使用時間が長い。地域行事や地域や社会の問題に関心が希薄で、ボランティア活動への参加も低い。	○自分には、よいところがあると思いますか $\underline{<58.9/69.3>}$ ○1日3時間以上携帯やスマホで通話メール・ネット $\underline{<43.3/34.2>}$ ○住んでいる地域の行事に参加している。 $\underline{<29.1/45.2>}$ ○地域や社会の問題に関心がある。 $\underline{<55.3/65.8>}$ ○地域社会でのボランティア参加。 $\underline{<58.2/70.2>}$
【家庭学習の様子】	授業以外に、平日や土日に家で学習する生徒の割合は、全国平均を上回っているが、学校の宿題や、習った事柄の復習を行う生徒の割合は低い。学習塾や家庭教師に習っている生徒の割合は全国平均より高い。	○授業以外、平日に2時間以上勉強する。 $\underline{<43.3/34.2>}$ ○土日に、1日3時間以上勉強する。 $\underline{<25.1/16.6>}$ ○学習塾（家庭教師含む）に通っていない。 $\underline{<29.1/38.9>}$ ○家で、学校の宿題をしている。 $\underline{<81.6/90.1>}$ ○家で、学校の復習をしている。 $\underline{<39.0/51.0>}$

【学校での 学習の様子】	『総合的な学習の時間』や『道徳』の授業において、調べたり、自分の考えを伝えられたり、相手の考えを聞いたりする割合が、全国平均を下回っている。 また、話し合いの活動においては、十分な取り組みができていなかったり、感想文や説明文を書くことに苦手意識を抱いている生徒の割合が、全国平均を上回っている。	○学校で、好きな授業はありますか。 $\langle 72.4/79.9 \rangle$ ○学活等に学級で話し合って決まり事を決めている。 $\langle 58.1/78.4 \rangle$ ○学活等での少数意見を取り入れながら意見をまとめているか。 $\langle 41.8/58.4 \rangle$ ○学級で何かをやりとげて、嬉しかったことはあるか。 $\langle 72.7/84.2 \rangle$ ○先生は、良いところを認めてくれているか。 $\langle 70.9/78.0 \rangle$ ○先生は、分かるまで教えてくれるか。 $\langle 64.5/74.1 \rangle$ ○『総合的な学習の時間』は好きか。 $\langle 51.4/68.3 \rangle$ ○『総合的な学習の時間』で課題を立てて情報を集め、調べたことを発表する学習に取り組んだ。 $\langle 28.7/57.7 \rangle$ ○生徒間で話し合う活動をよく行っていた。 $\langle 55.3/77.8 \rangle$ ○授業では、学級やグループで課題を立てて、情報を集め、調べたことを発表する学習に取り組んでいた。 $\langle 44.3/69.3 \rangle$ ○生徒間の話し合いの活動で内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたか。 $\langle 59.9/72.4 \rangle$ ○自分の考えを発表する機会では、資料や文章、話の組み立てを工夫して発表していたか。 $\langle 42.2/57.7 \rangle$ ○学習の目標（ねらい・めあて）とまとめを書いていたか。 $\langle 56.4/76.8 \rangle$ ○道徳の時間で、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合う活動に取り組んでいたか。 $\langle 57.8/74.1 \rangle$ ○400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思うか。 $\langle 77.6/62.8 \rangle$ ○話し合い活動を通じて、考えを深めたり広げたりすることができているか。 $\langle 53.2/64.8 \rangle$
-------------------------	--	---

本校の取組み

◎これまでの取組み

本校では「人権尊重の精神に満ちた心豊かな人間の育成」の教育目標の下、「互いに認め合いつながりあい高め合う質の高い集団の育成」を本年度の重点目標として掲げ、教育活動を推進しています。また、目標達成のため、具体的には「授業改善の推進」「学習環境の整備」「集会指導の充実」の3点を重点課題として取組みを進めているところです。中でも「授業改善の推進」については、これまでの全国学力・学習状況調査や学習アンケートの分析から見てきた本校の課題を踏まえ、①授業規律の保持 ②学習のめあての提示 ③ふりかえり活動 ④話し合い活動の推進の4本の柱を設定し、教員の共通理解を図りながら改善に努めています。その結果、②学習のめあての提示については、平成28年度の全国学力・学習状況調査の生徒質問紙で「授業の中で目標（めあて）が示されていたと思いますか」という質問に対する肯定的な回答が83.0%となり、昨年度調査の肯定的な回答（54.7%）から大幅に改善されました。同様に③ふりかえり活動についても、「授業の最後に学習活動を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」という質問で54.9%の生徒が肯定的な回答をしており、昨年度の回答（42.3%）から改善していることがうかがわれます。

◎これからの取組み

前段で述べたように、「授業改善の推進」については一定の成果があがっているものの、④話し合い活動の推進については同じ調査で「授業では生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか」という質問に対する肯定的な回答では本年度（55.3%）と昨年度（57.8%）の間に大きな変化は見られません。

そこで、今後は4つの柱を基盤とした授業改善について、下に述べるような具体的な実践を通じて、さらに研修を深め、取組みを進めてまいりたいと考えています。ひとつには「学習のめあて（指導目標）」と「ふりかえり活動（学習評価）」と「話し合い活動（指導方法）」の関連性を強く意識しながら、「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」という次期学習指導要領の改訂の方向性を見据え、「わかる授業」の実現に向けて、教員個々の授業力の更なる向上を図ります。

また、「家庭学習」についても、本校では平日に2時間以上学習する生徒の割合が43.3%となっており、全国（34.2%）よりも高い数値を示している一方で、「30分より少ない」「全くしない」生徒の割合も16.3%と高く、家庭学習の定着が大きな課題となっています。これについても、「家庭学習の手引き」の配布や、「宿題」の出し方について職員の研修を深める等の手立てを講じてまいります。

<具体的な実践>

- ・校内学力向上委員会を中心に「4本の柱を基盤とした授業改善」をさらに推進する
- ・教員の指導力向上を目指した研究授業を実践する（学期に1回を予定）
- ・外部講師を招聘した校内研修を実施し先進的な指導について学びを深める
- ・泉佐野市の授業・保育づくり研究グループと連携した研究を推進する
- ・英語科、数学科における少人数習熟度授業を今後も継続して実施する（個に応じた指導）
- ・全学年とも朝学習を通して基礎・基本の定着を図る
- ・テスト前や長期休業中に希望者を対象として補充学習を行う
- ・hyper-QU 検査の分析、検証から集団の状況を的確に把握し、今後の指導に活かす
- ・道徳についても研究授業を実施し、生徒一人ひとりに豊かな道徳的感性を養う
- ・生徒会やプログラム委員会等の自治活動を支援し主体的に課題解決に向かう生徒を育てる
- ・学習環境を整備し、落ち着いて学習できる学校体制を整える